

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立東井高野小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立東井高野小学校
学 校 長 名	山本 輝樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立東井高野小学校では、第6学年 37名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立東井高野小学校の結果概要

国語では全国・大阪市の平均正答率より約１～３ポイント、算数では全国・大阪市の平均正答率より約６ポイント低くなっている。正答率向上への対策を講じる必要がある。一方、平均無回答率、国語・算数ともに、全国・大阪市平均より大幅に低く、最後まであきらめずに問題に取り組もうとする姿勢が見られる。

児童質問紙では、国語・算数の学習内容の理解や、話し合い活動での考えの深まりに関しては、肯定的な回答が比較的多く見られる。一方、家で予習・復習を含めた学習の計画を立てて勉強することに課題があり、学校と家庭との連携が必要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】本校が重点的に取り組んでいる「書くこと」については、大阪市平均正答率より約３％高くなっており、毎週継続的に取り組んでいるモジュール学習などの基礎・基本の定着を図る活動の成果が表れている。一方で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」については、全国・大阪市の平均正答率より低く、課題がみられるため、重点的に取り組みを進める必要がある。

【算数】学習指導要領の内容に関しては、調査実施全項目とも全国・大阪市の平均正答率より低く、課題がみられる。特に、「数と計算」「図形」領域については全国・大阪市との差が大きく、重点的に取り組みを進める必要がある。小数、分数、数量関係や図形の基礎的・基本的な知識及び技能を高めるために、「わかった」ことを実感できる活動を多く取り入れることで、児童が意欲的に学習に向かう環境を整える必要がある。

質問調査より

「自分には良いところがある」に肯定的な回答が90.5%で、全国・大阪市より、肯定的な回答の割合が上回っている。たてわり班活動をはじめとした異学年交流や、様々な体験学習などを通して、学校生活に充実感を感じたり、自尊感情・自己肯定感が高まったりしていると考ええる。学習については、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に肯定的な回答が95.3%で、授業の中で一人ひとりの参加感を大切にし、考えや思いを持つ・伝える・比べる活動をどの教科においても取り入れてきた成果が表れたと考える。

今後の取組（アクションプラン）

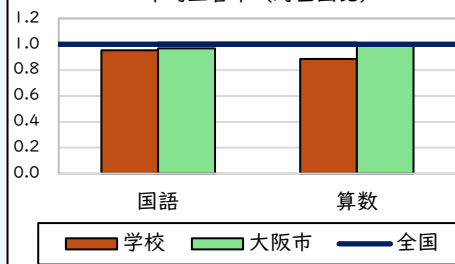
- ・国語については、漢字の読み書きや言葉のきまりの学習など、基礎・基本の定着を図る。また、図や表・資料から情報を取り出して整理し、それぞれの関係を捉えるという読み取り方を、普段の学習の中に意識的に取り入れる。
- ・子ども達が「わかる」「できる」「楽しい」を実感できる授業づくりのため、仮説→実践→検証→修正を繰り返し、様々な活動に参加感をもって取り組もうとする態度を育てる。
- ・学校だよりなどの各種お便りやPTA、はぐくみ会議などを通して、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てていけるよう啓発する。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	58	50
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4

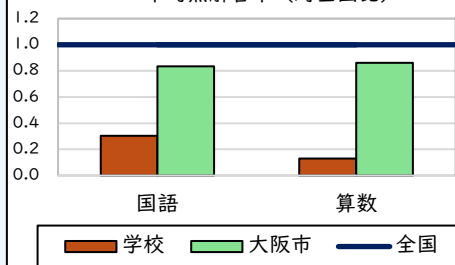
平均正答率 (対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.0	0.4
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2

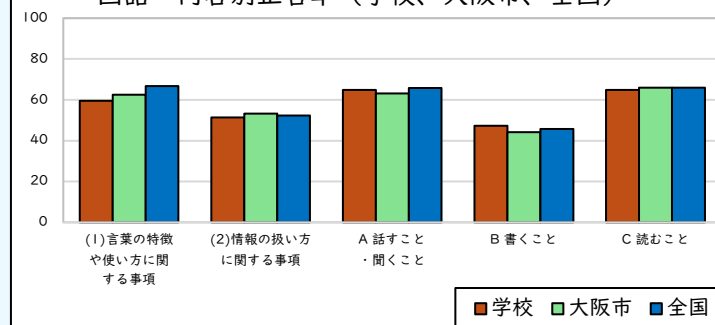
平均無解答率 (対全国比)



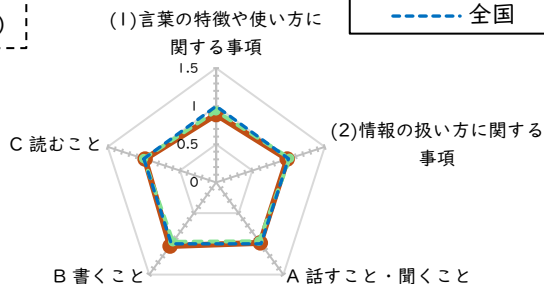
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	59.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	51.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	64.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	47.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	64.9	66.0	65.9

国語 内容別正答率 (学校、大阪市、全国)



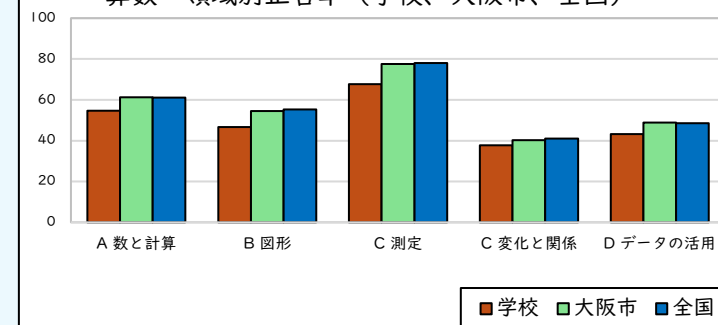
国語
内容別正答率
(対全国比)



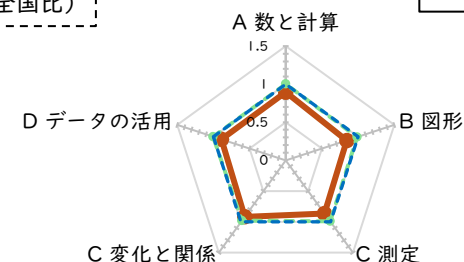
【算数】領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	54.7	61.2	61.1
B 図形	4	46.6	54.5	55.3
C 測定	1	67.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	37.8	40.3	41.1
D データの活用	4	43.2	48.8	48.6

算数 領域別正答率 (学校、大阪市、全国)



算数
領域別正答率
(対全国比)



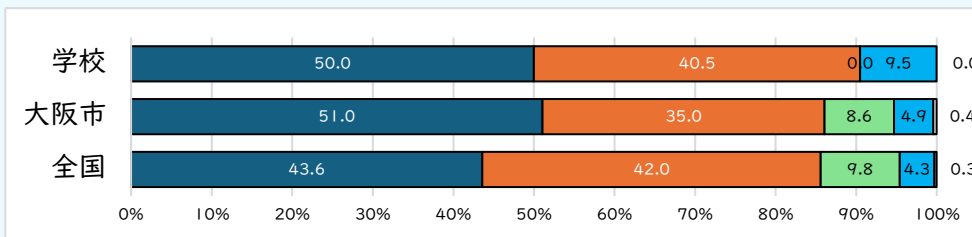
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

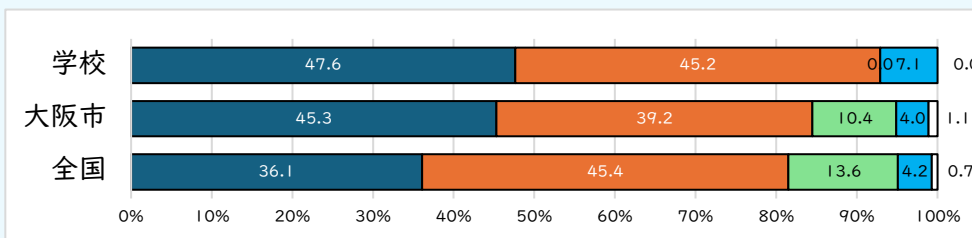
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



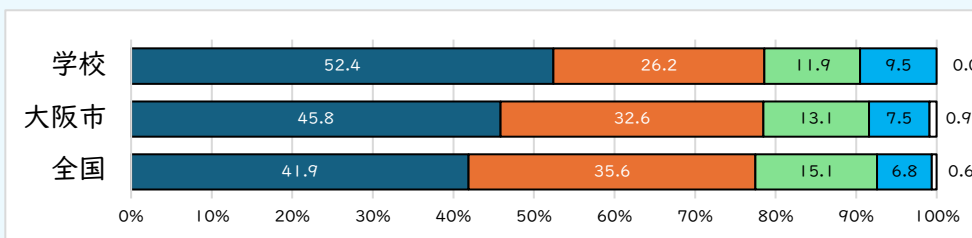
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(54) 国語の授業の内容はよく分かりますか



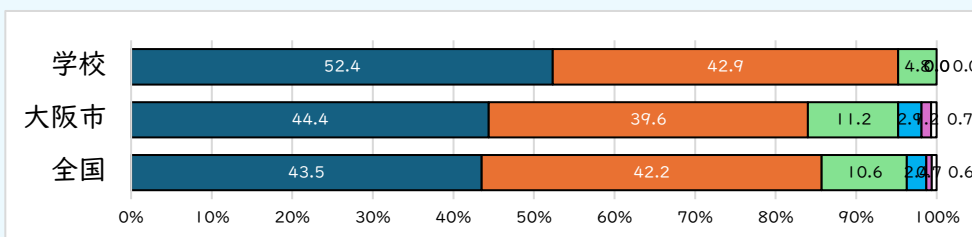
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(62) 算数の授業の内容はよく分かりますか



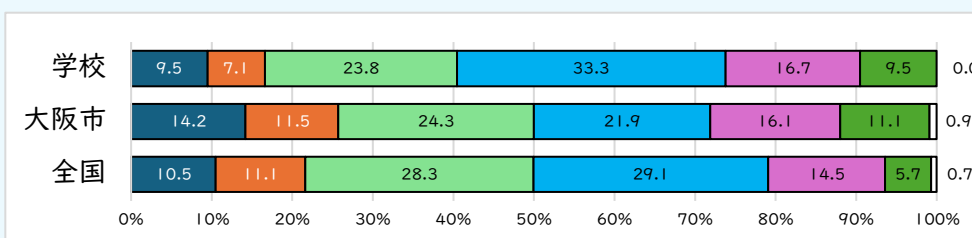
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



1 3時間以上
2 2時間以上、3時間より少ない
3 1時間以上、2時間より少ない
4 30分以上、1時間より少ない
5 30分より少ない
6 全くしない